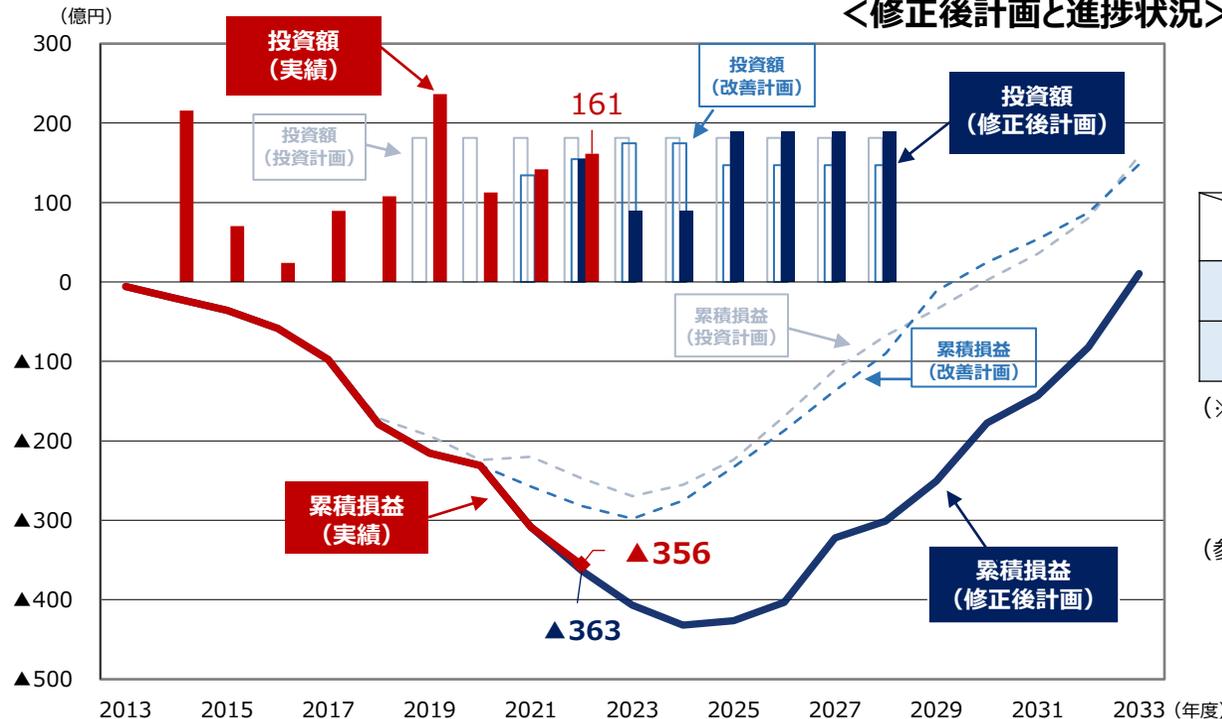


FY2022決算を踏まえた累積損益の進捗状況

- 新経済・財政再生計画 改革工程表2021（令和3年12月23日経済財政諮問会議決定）に基づき、2021年度末時点の累積損益が計画未達となったことを受けて、修正後計画を策定・公表（2022年11月）。
- 修正後計画における投資計画額は、154億円のところ、投資実績は、161億円。
 // 累積損益計画額は、▲363億円のところ、累積実績は、▲356億円と、約8億円上回った。
- 計画は達成したものの、厳しい経営状況であることに変わりはないため、
 - ①事業計画との乖離の恐れがある案件等への早期の対応（経営改善の提案、早期のEXIT交渉等）
 - ②政策目的の実現を前提に、収益確保の蓋然性を高く見込める新規案件の組成
 - ③他機関と連携した事業者支援（ビジネスマッチング等）
 - ④競争環境の整備による組織の新陳代謝の促進
 - ⑤必要経費の抑制
 などの経営改革に引き続き全力で取り組んでいく。

<修正後計画と進捗状況>



（単位：億円）

	2022.3末		2023.3末	
	計画	実績	計画	実績
投資額	134	142	154	161
累積損益	▲257	▲309	▲363	▲356

(※) CJ機構は、2022年11月に修正後計画（最低限達成すべき投資計画）を策定したため、2021年度(2022年3月末)までの修正後計画と実績とは同じ値となっている。

(参考)

- ・事業期間：株式会社海外需要開拓支援機構法に基づく設置期限（20年間：2013年度～2033年度）。投資の終期は2028年度。
- ・IRR：3.4%（2022年11月に策定した修正後計画の実行における値）